

## H3C製品 基本操作トレーニング v3.2

<b>I</b>	
内	容

01 Comware ベーシック	10 ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順
02 初期設定	11 日本語・英語マニュアルについて
03 VLAN	12 付録1 装置を工場出荷時の状態に戻す
04 Link aggregation	13 付録2 ユーザーrole(level 0 – level 15)
05 スタック(IRF)	14 付録3 イベントログの設定オプション
06 静的・動的ルーティング	15 付録4 USBの利用
07 ACLについて	16 付録5 インタフェースの命名規則(拡張カードのポート)
08 SNMPとsyslogについて	
09 障害情報の収集	



01 Comware ベーシック
02 初期設定
03 VLAN
04 Link aggregation
05 スタック(IRF)
06 静的・動的ルーティング
07 ACLについて
08 SNMPとsyslogについて
09 障害情報の収集
10 ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順
11 マニュアルについて

# 01 Comware とは

### One OS

1つのOSでネットワーク製品をサポート。 ※ルーター、スイッチ、無線、セキュリティなど

### モジュール設計

Comware V7は、分散構造、高可用性仮想 化、ISSU、保守性といった特性を備え、 Linuxをベースにした汎用オープンシステムで す。







### 01 CLI概要—Alias



CISCO	H3C	CISCO	H3C
no	no/undo	show version	show version/display versior
show	show/display		
exit	exit/quit	show startup-config	display saved-configuration
hostname	hostname/sysname	show running-config	display current-configuration
en, config terminal	system-view		
delete	delete	no debug all	no debug all/ctrl+d
reload	reboot	erase startup-config	reset saved-configuration
write	write/save	end	end/return
username	local-user	exit	exit
shutdown	shutdown	logging	Logging/info-center

<H3C> sys [H3C] alias run dis cur [H3C] run [H3C] display alias コマンドの実行:コマンドは1行毎に実行され、 変更は即時に反映される

# 01 CLI概要 – 便利な機能(コマンドヘルプ)



・?(ヘルプ)

[H3C]sys? sysname Specify the host name system-working-mode System working mode

システムビューで、sysnameと入力し、スペースと?を押します。システムは、以下の使用可能なすべてのキーワードとパラメーターをリストします。 [H3C]sysname **?** TEXT Host name (1 to 64 characters)

インテリジェント補体機能:コマンドを入力するときに、コマンドの最初の文字を入力してから Tabキーを押すことができます。システムは自動的にコマンドを補完します。

### 01 CLI概要 – 便利な機能(コマンド補完)



・タブ

[H3C]sys<tab>

タブを押します。システムは自動的にコマンドを補完します。 [H3C]sysname

例えばシステムビューでinと入力します。

[H3C]in<tab>

タブを押します。システムは自動的にinで始まる最初のコマンドを補完します: [H3C]interface タブを繰り返します。システムは自動的にinで始まるコマンドを繰り返します。

[H3C]info-center

### 01 CLI概要 – 便利な機能(部分表示)



 現在の設定全体を表示 [H3C]display current-configuration …コンフィグの最初から最後まで表示する # dhcp server ip-pool 4094 gateway-list 10.40.94.1 network 10.40.94.0 mask 255.255.255.0 dns-list 10.40.94.1 # [H3C]dhcp server ip-pool 4094 現在のビュー(この場合dhcpビュー)のみを表示 [H3C-dhcp-pool-4094]display this dhcp server ip-pool 4094 gateway-list 10.40.94.1 network 10.40.94.0 mask 255.255.255.0 dns-list 10.40.94.1 #

# 01 CLI概要 – 便利な機能(部分表示)



 特定の文字で始まる行から表示 [H3C]dis current-configuration | begin model wlan ap f010-903e-f7e0 model WA6638 serial-id 219801A24F8201E0000J mac-address f010-903e-f7e0 anchor-ap disable radio 1 radio enable service-template guest radio 2 radio enable service-template guest radio 3 gigabitethernet 1 ten-gigabitethernet 1 # return [H3C]

 特定の文字を含む行のみを表示
 [H3C]dis current-configuration | include radio radio 1 radio enable radio 2 radio enable radio 3
 [H3C]



## 01 コンフィグの設定 用意していただくもの

- PC
- ・ コンソールケーブル
- ・ LANケーブル



# 01 シリアルポートの通信設定



ポート(P):	COM6	~	ОК
ボー・レート(B):	9600	~	
データ(D):	8 bit	~	キャンセル
バリティ(A):	none	~	
ストップ(S):	1 bit	~	ヘルプ(H)
フロー制御(F):	none	~	
送信遅延			
0 ミリ利	)/字(c) 0		/秒/行(L)

シリアルポートの通信設定は9600ボー、データ8ビット、パリティなし、 ストップビット1,フロー制御無しとなります。

# 01 telnetの設定例





# 01 telnet, ssh, http, https, ftpの設定





ip http enable ip https enable WindowsPCから装置とのftp通信する際、ファイアウオール がftpを止めないように設定しないと動作しません

ファイアウォール: 無効

ファイアウォールはご使用のパソコンを乗っ取ったり、個人情報を盗み取ったりする侵入者か らパソコンを保護し、パソコンが送受信する情報を制御します。 詳<mark>編を見る</mark>





		<b>13C</b>
01	Comware ベーシック	Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	-
04	Link aggregation	
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	_
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	-
11	マニュアルについて	-

# 02システム初期設定



デバイス名(ホスト名)の設定(system-viewコマンド)

[H3C] sysname ? TEXT Host name (1 to 30 characters)

NTPを使わないシステムの時刻及びタイムゾーンの設定

[H3C] clock protocol *none* [H3C] clock timezone JP add 09:00:00 [H3C] quit <H3C> clock datetime *hh:mm:ss yyy/mm/dd* 

NTPを使ったシステムの時刻及びタイムゾーンの設定

[H3C] clock protocol ntp[H3C] clock timezone JP add 09:00:00[H3C] ntp enable[H3C] ntp-service unicast-server ntp.nict.jp

<H3C> display clock





### バナー/プロンプト情報の設定(system-viewコマンド)

### [H3C] header ?

incoming Specify the banner of the terminal user-interface [H3C]header motd h

Please input banner content, and quit with the character 'h'.

Hello!

h [H3C]

<H3C>display version

実行中のコンフィグの表示

<H3C>display current-configuration

<H3C>display interface

### 02システム初期設定



### IPステータスと設定情報の表示

<H3C>display ip interface brief

設定情報の保存

<H3C>save

設定情報の削除

<H3C>reset saved-configuration

起動コンフィグファイルの指定

<H3C>startup saved-configuration filename

tftpサーバーとの起動コンフィグファイルのバックアップ/リストア

<H3C>backup startup-configuration to dest-addr [ filename ]
<H3C>restore startup-configuration from src-addr filename

# 02 システム初期設定-File



### コンフィグファイルの表示

<H3C>display saved-configuration
<H3C>display current-configuration
#以下、起動時に読込まれるコンフィグファイル名(デフォルト:startup.cfg)を確認するコマンド
<H3C>display startup

### ブートファイルの指定(次の起動時)

<H3C>boot-loader file file-url <H3C>display boot-loader

<H3C>reboot
<H3C>schedule reboot at hh:mm[date]
<H3C>schedule reboot delay { hh:mm | mm }
<H3C>display schedule reboot



	le l	<b>13C</b>
01	Comware ベーシック	Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	-
04	Link aggregation	
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	_
11	マニュアルについて	-

- VLAN作成
- VLANにポートをアサイン

### [H3C] vlan vlan-id [H3C-vlan10] port interface-list

ポートタイプ:	操作
アクセスポート(Access port)	VLANを作成
トランクポート(Trunk port)	VLAN view(こ
ハイブリッドポート(Hybrid port)	VLANの名前

操作	コマンド
VLANを作成	vlan { vlan-id1 [ to vlan-id2 ]   all }
VLAN viewに移行する	vlan vlan-id
VLANの名前を設定する	name text
VLANの説明を設定する	description text

The Leader in Digital Solution

#### ポートリンクタイプ

ポートのリンクタイプは、Access、Trunk、またはHybridに設定できます。ポートリンクタイプによって、ポートを複数の VLANに割り当てることができるかどうかが決定されます。リンクタイプでは、次のVLANタグ処理方法が使用されます。

- Access: Accessポートは、1つのVLANからのパケットだけを転送し、これらのパケットをタグなしで送信できます。
   通常、Accessポートは次の条件で使用されます。
  - 。VLANパケットをサポートしていない端末デバイスへの接続。
  - 。VLANを区別しないシナリオ。
- Trunk: Trunkポートは複数のVLANからパケットを転送できます。Port VLAN ID(PVID)からのパケットを除き、 Trunkポートから送信されるパケットはVLANタグ付きです。ネットワークデバイスに接続するポートは通常、Trunk ポートとして設定されます。
- Hybrid: Hybridポートは複数のVLANからパケットを転送できます。Hybridポートによって転送されるパケットのタ ギングステータスは、ポート設定によって異なります。

#### PVID

PVIDはポートのデフォルトVLANを識別します。ポートで受信されたタグなしパケットは、ポートPVIDからのパケットと見なされます。

Accessポートは1つのVLANにしか加入できません。Accessポートが属するVLANは、ポートのPVIDです。TrunkポートまたはHybridポートは、複数のVLANおよびPVID設定をサポートします。

パケットの向かう方 向	Access	Trunk	Hybrid
タグなしフレームのイ ンバウンド方向	フレームにPVIDタグを付けます。	<ul> <li>ポートでPVIDが許可されている場合は、フレームにPVIDタ グを付けます。</li> <li>・そうでない場合は、フレームをドロップします。</li> </ul>	
タグ付きフレームのイ ンバウンド方向	<ul> <li>VLAN IDがPVIDと同じであれば、フレームを受信します。</li> <li>VLAN IDがPVIDと異なる場合は、フレームをドロップします。</li> </ul>	・VLANがポートで許可されています。 ・VLANがポートで許可されてい プします。	る場合は、フレームを受信し ない場合は、フレームをドロッ
アウトバウンド方向	VLANタグを削除し、フレームを送信し ます。	<ul> <li>・フレームがPVIDタグを持ち、 ポートがPVIDに属している場合は、タグを削除してフレームを送信します。</li> <li>・VLANがポート上で伝送されているがPVIDと異なる場合、タグを削除せずにフレームを送信します。</li> <li>送信するパケットにタグを付ける、 ・Trunk: PVIDと同じなら付けないかuntagged)</li> </ul>	VLANがポートで許可されて いる場合にフレームを送信し ます。フレームのタギングス テータスは、port hybrid vlanvlan-id-list { tagged   untagged }コマンドの設定に よって異なります。デフォルト はuntaggedです。 るか、付けないかの判断 い

- トランクポートタイプの指定
- ・ トランクポートにVLANをアサイン
- トランクポートにデフォルトVLANの設定

[H3C-GigabitEthernet1/0/1] port link-type trunk [H3C-GigabitEthernet1/0/1] port trunk permit vlan {*vlan-id list* | all} [H3C-GigabitEthernet1/0/1] port trunk pvid vlan *vlan-id* 

- ハイブリッドポートタイプの指定
- ハイブリッドポートにVLANをアサイン
- ハイブリッドポートにデフォルトVLANの設定

[H3C-GigabitEthernet1/0/1] port link-type hybrid [H3C-GigabitEthernet1/0/1] port hybrid vlan *vlan-id-list* {tagged | untagged} [H3C-GigabitEthernet1/0/1] port hybrid pvid vlan *vlan-id* 

# 03 VlanにIPアドレスを割り当てる



装置を管理するために装置にIPアドレスを割り当てる

- VLANを作成
- ・ VLANにIPアドレスをマニュアルで割り当てる 又は
- ・ VLANにDHCPサーバーからIPアドレスを割り当てる









		<b>-13C</b>
01	Comware ベーシック	e Leader in Digital Solutions
02	初期設定	_
03	VLAN	_
04	Link aggregation	
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	
11	マニュアルについて	



Link aggregation	Describe
スタティック(Static) デフォルト	パケット毎にどのポートから送信するかはlink-aggregation global load-sharing modeで指定します。
ダイナミック(Dynamic)	パケット毎にどのポートから送信するかはシステムの両端がLACP を使用してネゴシエートします。 LACPは、IEEE 802.3adの規格にて定義されてます。

リンクアグリゲーション(LAG)グループの作成手順

- リンクアグリゲーション(LAG)グループの作成
- (オプション)リンクアグリゲーションモードをDynamicにする(デフォルトはStatic)
- リンクアグリゲーション(LAG)グループにポートをアサイン

[H3C] interface bridge-aggregation interface-number [H3C- Bridge-Aggregation interface-number]link-aggregation mode dynamic [H3C-GigabitEthernet1/0/1] port link-aggregation group number



### スタテックリンクアグリゲーションの方式一覧

[H3C] link-aggregation global load-sharing mode { { destination-

```
ip | destination-mac | destination-port | ingress-port | ip-protocol | mpls-
label1 | mpls-label2 | mpls-label3 | source-ip | source-mac | source-
```

```
port | vlan-id } * | flexible | per-packet }
```

### デフォルト Layer 2 traffic: packet type-based sharing Layer 3 traffic: packet type-based sharing

destination-ip:宛先IPアドレスに基づいてトラフィックを分散 destination-mac:宛先MACアドレスに基づいてトラフィックを分散 destination-port:宛先ポートに基づいてトラフィックを分散 ingress-port:入力ポートに基づいてトラフィックを分散 ip-protocol:IPプロトコルタイプに基づいてトラフィックを分散 mpls-label1:レイヤ1ラベルに基づいてMPLSトラフィックを分散 mpls-label2:レイヤ2ラベルに基づいてMPLSトラフィックを分散 source-ip:送信元IPアドレスに基づいてトラフィックを分散 source-mac:送信元MACアドレスに基づいてトラフィックを分散 source-port:送信元ポートに基づいてトラフィックを分散 vlan-id:VLANIDに基づいてトラフィックを分散 Flexible:パケットタイプ(レイヤ2プロトコルパケット、IPv4パケット、 IPv6パケット、またはMPLSパケット)に基づいてトラフィックを柔 軟に分散 Per-packet:パケットごとにトラフィックを分散



[SWB] interface bridge-aggregation 1 [SWB-Bridge-Aggregation1] port link-type trunk [SWB-Bridge-Aggregation1] port trunk permit vlan 1 10 11 12 [SWB-Bridge-Aggregation1] link-aggregation mode dynamic [SWB-Bridge-Aggregation1] quit [SWB] interface Ethernet1/0/1 [SWB-Ethernet1/0/1] port link-mode bridge [SWB-Ethernet1/0/1] port link-type trunk [SWB-Ethernet1/0/1] port trunk permit vlan 1 10 11 12 [SWB-Ethernet1/0/1] port link-aggregation group 1 [SWB-Ethernet1/0/1] quit [SWB] interface Ethernet1/0/2 [SWB-Ethernet1/0/2] port link-mode bridge [SWB-Ethernet1/0/2] port link-type trunk [SWB-Ethernet1/0/2] port trunk permit vlan 1 10 11 12 [SWB-Ethernet1/0/2] port link-aggregation group 1 [SWB-Ethernet1/0/2] quit

[H3C]dis link-aggregation summary
 Aggregation Interface Type:
 BAGG -- Bridge-Aggregation, BLAGG -- Blade-Aggregation, RAGG -- Route-Aggregation, SCH-B -- Schannel-Bundle
 Aggregation Mode: S -- Static, D -- Dynamic
 Loadsharing Type: Shar -- Loadsharing, NonS -- Non-Loadsharing
 Actor System ID: 0x8000, a47b-88d2-0100

AGG	AGG	Partner ID	Selected	Unselected	Individual	Share
Interface	Mode		Ports	Ports	Ports	Type
BAGG1	S	None	1	1	0	Shar

•S - スタティックモード



		H <sub>3</sub> C
01	Comware ベーシック	The Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	_
04	Link aggregation	_
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	
11	マニュアルについて	

### 05 H3Cスイッチ-IRF(1つのIPで複数台を管理)





### 05 H3Cスイッチ-IRFの結線ルール



IRFのトポロジー: IRF 論理スロット番号/論理ポート番号



### 05 H3Cスイッチ-IRF



### #AC1の設定

#共通の設定 [AC1] irf auto-update enable #IRFポートの障害を500msで検知 [AC1] irf link-delay 500 #IRFポートdisableIこします [AC1] interface Ten-GigabitEthernet 1/0/29 [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/29] shutdown [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/29] quit [AC1] interface Ten-GigabitEthernet 1/0/30 [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/30] shutdown [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/30] quit



#IRF論理スロット/ポート1/1を作成し、ポートGigabitEthernet1/0/8をIRF論理スロット/ ポート1/1に追加します [AC1] irf-port 1/1 [AC1-irf-port1/1] port group interface Ten-GigabitEthernet 1/0/29 # IRFをactiveにしたあとsaveコマンドを実行するようにというメッセージが表示される You must perform the following tasks for a successful IRF setup: Save the configuration after completing IRF configuration. Execute the "irf-port-configuration active" command to activate the IRF ports. [AC1-irf-port1/1] port group interface Ten-GigabitEthernet 1/0/30 [AC1-irf-port1/1] quit #AC1をプライマリデバイスとして選択できるように、AC1のプライオリティを32(最高)に 設定します [AC1] irf domain 1 [AC1] irf member 1 priority 32 #IRFポートをenableにする(結線はまだしません) [AC1] interface Ten-GigabitEthernet 1/0/29 [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/29] undo shutdown [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/29] quit [AC1] interface Ten-GigabitEthernet 1/0/30 [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/30] undo shutdown [AC1-Ten-GigabitEthernet 1/0/30] quit [AC1] irf-port-configuration active [AC1] save force

Validating file. Please wait...
# 05 H3Cスイッチ-IRF



#### #AC2の設定準備

#### #論理スロット番号を2にする

<AC2>sys System View: return to User View with Ctrl+Z. [AC2]**irf domain 1** [AC2]**irf member 1 renumber 2** Renumbering the member ID may result in configuration change or loss. Continue?[Y/N]:**y** [AC2]**save force** Validating file. Please wait... [AC2] **quit** <AC2> <AC2>reboot Start to check configuration with next startup configuration file, please wait......DONE! This command will reboot the device. Continue? [Y/N]:y Now rebooting, please wait....%Jan 1 01:25:08:472 2013 H3C DEV/5/SYSTEM\_REBOOT: System is rebooting now. Starting..... Press Ctrl+D to access BASIC BOOT MENU Booting Normal Extend BootWare....

# 05 H3Cスイッチ-IRF



#### #AC2の設定

#### #共通の設定

[AC2] **irf auto-update enable** #IRFポートの障害を500msで検知 [AC2] **irf link-delay 500 #IRFポートdisableにします** [AC2] interface Ten-GigabitEthernet 2/0/29 [AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/29] **shutdown** [AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/29] **quit** [AC2] interface Ten-GigabitEthernet 2/0/30 [AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/30] **shutdown** [AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/30] **quit**  #IRF論理スロット/ポート2/2を作成し、ポートGigabitEthernet2/0/7, GigabitEthernet2/0/8をIRFスロット/論理ポート2/2に追加します [AC2] irf-port 2/2 [AC2-irf-port2/2] port group interface Ten-GigabitEthernet 2/0/29 # IRFをactiveにしたあとsaveコマンドを実行するようにというメッセージが表示される You must perform the following tasks for a successful IRF setup: Save the configuration after completing IRF configuration. Execute the "irf-port-configuration active" command to activate the IRF ports. [AC2-irf-port2/2] port group interface Ten-GigabitEthernet 2/0/30 [AC2-irf-port2/2] quit #AC1をセカンダリーデバイスとして選択できるように、AC2のプライオリティを1(最低)に設 定します [AC2] irf member 2 priority 1

# 05 H3Cスイッチ-IRF



#AC2の設定(続き)	#IRFの完成が確かめられたので完成コンフィグをsaveします
#IRFポートをenableにする(結線はまだしません)	[AC1] save force
[AC2] interface Ten-GigabitEthernet 2/0/29	Validating file. Please wait
AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/291 undo shutdown	Saved the current configuration to mainboard device successfully.
[AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/29] quit	Slot 2:
[AC2] interface Ten-GigabitEthernet 2/0/30	Save next configuration file successfully
[AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/30] undo shutdown	
[AC2-Ten-GigabitEthernet 2/0/30] quit	
[AC2] iff port configuration active	Momber 1
	IDE Dort Interface
[AC2] Save force	IRF Poil Intenace Status
Validating file. Please wait	1 Ien-GigabitEthernet1/0/29 UP
[AC2]	2 Ien-GigabitEthernet1/0/30 UP
#IRFボート同士を結線するとIRFが始まりAC2がAC1と同期するために	Member 2
rebootして、rebootが完了するとIRFが完成します。	IRF Port Interface Status
#AC2がMasterのAC1に同期しsysnameが両方ともAC1となる	1 Ten-GigabitEthernet2/0/29 UP
[AC1]display irf	2 Ten-GigabitEthernet2/0/30 UP
MemberID Role Priority CPU-Mac Description	#IRFの現在の稼働状況の確認
*+1 Master 32 f010-90db-7402	# stableなら安定状態
2 Standby 1 f010-90db-7403	[AC1]display system stable state
	System state : Stable
* indicates the device is the master	Redundancy state · Stable
+ indicates the device through which the user logs in	Slot CPU Role State
	1  0  Active  Stable
	2 0 Standby Stable
	2 0 Standby Stable

[AC1]

# 05 H3Cスイッチ-IRF(マスター選択ルール)



マスター選択は、次の状況でIRFファブリックトポロジが変更されるたびに発生します。

- IRFファブリックが確立された。
- マスター装置に障害が発生するか、マスター装置が取り除かれた。
- IRFファブリックがスプリットされた。

注。スプリットされたIRFファブリックがマージ(復旧)された場合、マスター選択は行なわれません。

# 05 H3Cスイッチ-IRF (マスター選択ルール)



マスター選択では、降順にマスターが選択されます。

- 1. 新しいメンバーの優先順位が高くても、現在のマスターが選択されます。 IRFファブリックが形成されると、すべてのメンバーが自身をマスターと見なしますの で、このルールはスキップされます。
- 2. 優先順位の高いメンバーがマスターです。
- 3. システムの稼働時間が最も長いメンバーがマスターです。 起動時間の差が10分以下の場合、2つのメンバーは同時に起動するとみなされま す。これらのメンバーには、次のタイブレーカーが適用されます。
- 4. 最小のCPU MACアドレスを持つメンバーがマスターです。
   新しいIRFファブリックをセットアップする場合、マスター選択後にセットアップを完了するには、下位装置をリブートする必要があります。
- 5. IRFマージでは、マスター選択に失敗したIRFファブリック内の装置をリブートする 必要があります。





www.h3c.com

#BFD MADの設定例(vlan番号はどこにも属さない番号) [AC1] vlan 99 [AC1-vlan99] quit [AC1] interface Vlan-interface99 [AC1-Vlan-interface99] mad bfd enable [AC1-Vlan-interface99] mad ip address 172.16.0.1 24 member 1 [AC1-Vlan-interface99] mad ip address 172.16.0.2 24 member 2 [AC1-Vlan-interface99] quit [AC1] interface GigabitEthernet1/0/24 [AC1-GigabitEthernet1/0/24] port link-mode bridge [AC1-GigabitEthernet1/0/24] port access vlan 99 [AC1-GigabitEthernet1/0/24] undo stp enable [AC1-GigabitEthernet1/0/24] quit [AC1] interface GigabitEthernet2/0/24 [AC1-GigabitEthernet2/0/24] port link-mode bridge [AC1-GigabitEthernet2/0/24] port access vlan 99 [AC1-GigabitEthernet2/0/24] undo stp enable [AC1-GigabitEthernet2/0/24] quit [AC1] save force Validating file. Please wait... Saved the current configuration to mainboard device successfully. Slot 2: Save next configuration file successfully.

#BFD MADの設定の確認 <AC1>display mad verbose Multi-active recovery state: No Excluded ports (user-configured): Excluded ports (system-configured): IRF physical interfaces: Ten-GigabitEthernet1/0/29 Ten-GigabitEthernet1/0/30 Ten-GigabitEthernet2/0/29 Ten-GigabitEthernet2/0/30 **BFD MAD interfaces:** Vlan-interface99 MAD ARP disabled. MAD ND disabled. MAD LACP disabled. MAD BFD enabled interface: Vlan-interface99 MAD status : Normal Member ID MAD IP address Neighbor MAD status 2 Normal 172.16.0.1/24 2 172.16.0.2/24 Normal 1

#### #IRFポートのいずれかが正常な状態

<AC1>display bfd session verbose Total Session Num: 1 Up Session Num: 0 Init Mode

Init Mode: Active

IPv4 session working in control packet mode:

Local Discr: 129 Source IP: 172.16.0.1 Session State: **Down** Min Tx Inter: 400ms Min Rx Inter: 400ms Rx Count: 2 Connect Type: Direct Hold Time: 0ms Detect Mode: Async Protocol: MAD Version: 1 Diag Info: No Diagnostic Remote Discr: 0 Destination IP: 172.16.0.2 Interface: Vlan-interface99 Act Tx Inter: 100ms Detect Inter: 5000ms Tx Count: 18011 Running Up for: 00:00:00 Auth mode: None Slot: 1

#### **#IRFポートの両方がダウンした状態。MAD BFD機能** によりIPアドレスの重複を避ける機能が作動 <AC1>display bfd session verbose

Total Session Num: 1 Up Session Num: 1

1 Init Mode: Active

IPv4 session working in control packet mode: Local Discr: 129 Remote Discr Source IP: 172.16.0.1 Destination IP Session State: **Up** Interface: V Min Tx Inter: 400ms Act Tx Inter: Min Rx Inter: 400ms Detect Inter: Rx Count: 4 Tx Count: 21 Connect Type: Direct Hold Time: 5000ms Auth mode Detect Mode: Async Slot: 1 Protocol: MAD Version: 1 Diag Info: No Diagnostic

Remote Discr: 129 Destination IP: 172.16.0.2 Interface: Vlan-interface99 Act Tx Inter: 100ms Detect Inter: 5000ms Tx Count: 21060 Running Up for: 00:01:08 Auth mode: None Slot: 1



#activeなスロット	#activeでない(recovery状態)スロット		
<h3c>diplay mad verbose</h3c>	<h3c>display mad verbose</h3c>		
Multi-active recovery state: No	Multi-active recovery state: Yes		
Excluded ports (user-configured):	Evoluded ports (user-configured):		
Excluded ports (dser configured):	Excluded ports (dser-configured):		
IPE physical interfaces:	IDE physical interfaces:		
GigabitEthornot1/0/20 ※activeなスロットはMulti-activeが	Circle interfaces. ※activeでないスロットはMulti-activeが		
GigabitEthernot1/0/20 recovery 半能でたいこと	GigabitEthernet2/0/29		
CirabitEthernet1/0/24 ※IRFの状態は全てのスロットがMaster	DFD WIAD Internaces: ※IRFの状態は全てのスロットがMaster		
Gigabile interfees 00	GigabitEthernet2/0/24		
MAD ND disabled.	MAD ARP disabled.		
	MAD ND disabled.		
MAD LACP disabled.	MAD LACP disabled.		
MAD BFD enabled interface: Vian-interface99	MAD BFD enabled interface: Vlan-interface99		
MAD status : Normal	MAD status : Normal		
Member ID MAD IP address Neighbor MAD status	Member ID MAD IP address Neighbor MAD status		
1 172.16.0.1/24 2 Normal	2 172.16.0.2/24 1 Normal		
<h3c>display irf</h3c>	<h3c>display irf</h3c>		
MemberID Role Priority CPU-Mac Description	MemberID Role Priority CPU-Mac Description		
*+1 Master <b>32</b> f010-90db-7402	*+2 Master 1 f010-90db-7403		
* indicates the device is the master.	* indicates the device is the master.		
+ indicates the device through which the user logs in.	+ indicates the device through which the user logs in.		
The bridge MAC of the IRF is: 70c6-dd4d-167c	The bridge MAC of the IRF is: 70c6-dd4d-167c		
Auto upgrade : yes	Auto upgrade : yes		
Mac persistent : 6 min	Mac persistent : 6 min		
Domain ID : 1	Domain ID : 1		



#### #activeなスロット #IRFポートはGE1/0/29, GE1/0/30, MADポートは GE1/0/24

<H3C>dis int link-info

Link: ADM - administratively down; Stby - standby

Protocol: (s) - spoofing

Interface	Link Pr	otocol	InUsage	OutUsage	InErrs	OutErrs
GE1/0/1	UP	UP	5%	2%	0	0
GE1/0/2	UP	UP	10%	2%	0	0
GE1/0/3	UP	UP	10%	2%	0	0
GE1/0/24	UP	UP	20%	20%	0	0
GE1/0/28	UP	UP	10%	10%	0	0
GE1/0/29	DOW	N DOWN	0%	0%	0	0
GE1/0/30	DOW	<b>N DOWN</b>	0%	0%	0	0
InLoop0	UP	UP(s)	-%	-%	0	0
NULLO	UP	UP(s)	-%	-%	0	0
Vlan1	UP	UP	-%	-%	0	0
Vlan99	UP	UP	-%	-%	0	0

Overflow: More than 7 digits.

--: Not supported.

#### #activeでない(recovery状態)スロット #IRFポート, MADポート以外のインタフェースは

#### shutdown

<h3c>dis int link-info</h3c>						
Link: ADM - a	administra	atively dov	wn; Stby - s	standby		
Protocol: (s)	- spoofing	3				
Interface	Link Pro	tocol	InUsage (	DutUsage	InErrs	OutErrs
GE2/0/1	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
GE2/0/2	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
GE2/0/3	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
GE2/0/24	UP	UP	20%	20%	0	0
GE2/0/28	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
GE2/0/29	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
GE2/0/30	DOWN	DOWN	0%	0%	0	0
InLoop0	UP	UP(s)	-%	-%	0	0
NULL0	UP	UP(s)	-%	-%	0	0
Vlan1	UP	UP	-%	-%	0	0
Vlan99	UP	UP	-%	-%	0	0

Overflow: More than 7 digits.

--: Not supported.

#IRFが復旧するとrecovery状態のスロットは自動的 にrebootしてインタフェースがUPの状態に戻ります



01 Comware ベーシック	HBC The Leader in Digital Solutions
02 初期設定	_
03 VLAN	
04 Link aggregation	
05 スタック(IRF)	
06 静的・動的ルーティング	
07 ACLについて	
08 SNMPとsyslogについて	
09 障害情報の収集	_
10 ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	
11 マニュアルについて	_

06 スタティックルート、デフォルトルートの設定



スイッチにスタティックルートを設定する場合のコンフィグは以下の通り。

**[SW]ip route-static** { *dest-address* { *mask-length* | *mask* } *next-hop-address* 

スイッチにデフォルトルートを設定する場合のコンフィグは以下の通り。

[SW]ip route-static 0.0.0.0 0.0.0.0 next-hop-address



## 06 RIPv2の基本的なコマンド



・グローバルRIPバージョンを指定します。

[Router] rip [ process-id ]
[Router-rip-1] version { 1 | 2 }

・このルーターで他のルーターへ伝えるインタフェースを指定します。

[Router-rip-1] network network-address [wildcard-mask]

・RIPv2のルート自動サマライズをディセーブルにします。

[Router-rip-1] undo summary

宛先ネットワークが多いとルーティングテーブルのサイズが大きくなりすぎるので自動的に共通 にできるネットワークアドレスまでサブネットマスクを調整してエントリーを削減する手法をサマ ライズと呼びます。デフォルトはsummaryが有効です。

## 06 RIPv2の設定例







## 06 OSPFの基本的なコマンド

ルータIDを設定する

[Router]router id router-id

OSPFプロセスを有効にする

[Router]ospf [ process-id ]

OSPFプロセスをリセットする

<Router>reset ospf [ process-id ] process

OSPFエリアを作成する

[Router-ospf-100]area area-id

エリア内の指定されたネットワークに接続されたインターフェイス上でOSPFを有 効にする

[Router-ospf-1-area-0.0.0.0] network ip-address wildcard-mask

### 06 OSPFのオプションコマンド



インターフェイスのDRプライオリティを設定する

[Router-Ethernet0/0] ospf dr-priority priority

[Router-Ethernet0/0] ospf cost value





### 06 DHCPサーバーの基本的なコマンド



DHCPを有効にする。

#### [Router] dhcp enable

• DHCPアドレスプールを作成します。

[Router] dhcp server ip-pool pool-name

・ダイナミック割り当てのIPアドレスの領域を指定します。

[Router] dhcp server ip-pool 0 [Router-dhcp-pool-0] network network-address [ mask-length | mask mask ]

・DHCPクライアントのゲートウェイIPアドレスを指定します。

[Router-dhcp-pool-0] gateway-list ip-address&<1-8>

### 06 DHCPサーバーの基本的なコマンド



・DHCPクライアントのためのDNSサーバアドレスを指定します。

[Router-dhcp-pool-0] dns-list ip-address&<1-8>

・ダイナミック割り当てから特定IPアドレスを除外します。

[Router] dhcp server forbidden-ip start-ip-address [ end-ip-address ]

ダイナミックに割り当てられるIPアドレスのリース期間を指定します。

[Router] dhcp server ip-pool 0
[Router-dhcp-pool-0] expired { day day [ hour hour
[ minute minute [ secondsecond ]] | unlimited }

06 DHCPサーバーのコンフィギュレーション例





[Router] dhcp enable [Router] dhcp server forbidden-ip 192.168.1.10 [Router] dhcp server forbidden-ip 192.168.1.254 [Router] dhcp server ip-pool 0 [Router-dhcp-pool-0] network 192.168.1.0 mask 255.255.255.0 [Router-dhcp-pool-0] gateway-list 192.168.1.254 [Router-dhcp-pool-0] dns-list 192.168.1.10 [Router-dhcp-pool-0] expired day 5 [Router-dhcp-pool-0] quit



		H <sub>3</sub> C
01	Comware ベーシック	ne Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	
04	Link aggregation	
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	_
11	マニュアルについて	_





システムのデフォルトのフィルタリングアクションを指定します。 →デフォルトでは、システムのデフォルトのフィルタリングアクション は、許可(permit)です。

[H3C] packet-filter default deny

### 07 基本ACL設定



- 基本ACLを設定し、ACL番号を指定する
  - 基本ACLのACL番号の範囲は2000~2999です。

[H3C] acl basic acl-number

ルールを作成する

→照合する送信元IPアドレス範囲の指定 →フィルタリングアクションを許可(permit)または拒否(deny)に指定する

[H3C-acl-basic-2000] rule [ rule-id ] { deny | permit } [ counting | fragment | logging | source { sour-addr sour-wildcard | any } | time-range time-range-name ]

### 07 応用ACL設定



・ 応用ACLの設定とACL番号の指定

→応用ACLのACL番号の範囲は3000~3999です。

[H3C] acl advanced acl-number

ルールを作成する

→照合する送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、IPで運ばれるプロトコル、ポート番号

[H3C-acl-adv-3000] rule [ rule-id ] { deny | permit } protocol [ destination { dest-addr destwildcard | any } | destination-port operator port1 [ port2 ] established / fragment | source { sour-addr sour-wildcard | any } | source-port operator port1 [ port2 ] | time-range time-rangename ]

### 07 基本ACLの設定例



PC-AがネットワークAとネットワークBにアクセスすることを禁止し、
 他のネットワークにアクセスすることを許可する





		H <sub>3</sub> C
01	Comware ベーシック	ne Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	_
04	Link aggregation	_
05	スタック(IRF)	_
06	静的・動的ルーティング	_
07	ACLについて	
08	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	_
11	マニュアルについて	_

### **08 SNMP**について

SNMPで管理するする設定は以下の通りです。

System-viewに入ってinfo-centerコマンドでホストと記録するエラーのレベルを指定します。

<H3C> system-view

[H3C] snmp-agent community write simple xxxxxxx

[H3C] snmp-agent community read simple xxxxx

[H3C] snmp-agent sys-info version all

エラーなどの事象が発生した場合にSNMPのtrapメッセージを送る場合は以下のような設定をしま

す。Securitynameは固有の設定をし、v2cはtrapのバージョンを指定します。

[H3C] snmp-agent trap enable syslog

[H3C] snmp-agent target-host trap address udp-domain トラップを受信するipaddress params securityname WA6638\_01 v2c

### 08 syslogについて

#### syslogホストヘログを送信する設定は以下の通りです。

System-viewに入ってinfo-centerコマンドでホストと記録するエラーのレベルを指定します。

<H3C> system-view

#### [H3C] info-center loghost syslogサーバーのIPアドレス

#### [h3C] info-center source default loghost level critical

```
#レベルは以下の通り
                   推奨アクションはすぐに実行する必要があります (severity=1)
Alert
Critical
                   危機的な状態 (severity=2)
           デバッグレベルのメッセージ (severity=7)
Debugging
Emergency
           システムが動作していません (severity=0)
Error
                    エラー状態 (severity=3)
Informational 情報メッセージ (severity=6)
           正常だが重大な状態 (severity=5)
Notification
Warning
           警告状態 (severity=4)
```



		<b>-13C</b>
01	Comware ベーシック	e Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	-
04	Link aggregation	
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	_
08	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	_
11	マニュアルについて	

#### 09 障害情報の収集 ・ログをflashドライブにファイルとして保存して、ファイルをサポートに送付していただく。

#### 所要時間:約1分 <WX3820H-AC>dis diagnostic-information

Save or display diagnostic information (Y=save, N=display)? [Y/N]:y Please input the file name(\*.tar.gz)[flash:/diag\_WX3820H-AC\_20130101-040914.tar.gz]: Diagnostic information is outputting to flash:/diag WX3820H-AC 20130101-040914.tar.gz.

Please wait...

Save successfully. <WX3820H-AC>

#### • Flashドライブのファイルは ftp もしくは tftp にて PC へ put する。

<WX3820H-AC>ftp 192.168.1.3 Press CTRL+C to abort. Connected to 172.16.1.10 (172.16.1.10). 220 3Com 3CDaemon FTP Server Version 2.0 User (172.16.1.10:(none)): anonymous 331 User name ok, need password Password: 230 User logged in Remote system type is UNIX. Using binary mode to transfer files. ftp> put diag\_WX3820H-AC\_20130101-040914.tar.gz 227 Entering passive mode (172,16,1,10,251,22) 125 Using existing data connection 226 Closing data connection; File transfer successful. 159041 bytes sent in 0.008 seconds (18.57 Mbytes/s) ftp> quit <WX3820H-AC>

www.h3c.com







		H <sub>3</sub> C
01	Comware ベーシック	The Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	
04	Link aggregation	_
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	_
07	ACLについて	_
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	
11	マニュアルについて	

## 10 ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順 H3C

ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順に関しては「H3Cハードウェア製品\_ライセンスの登録 と更新」またはビデオ「H3Cハードウェア製品\_ライセンスの登録と更新」を参照してください。



アクセスコントローラ(WX3840H)にはAPを管理するために別途ライセンスが 必要となります。その際の手順などについて事前に習得しておく必要があり ます。

ライセンスを管理するには、以下のタスクを実行してください。

- 1. ライセンスストレージの識別
- 2. (必要に応じて)。ライセンスストレージの圧縮
- 3. ライセンス登録に必要な情報の取得

4. ライセンスの登録

5. ライセンスのインストール

- 6. インストール済みライセンスの管理
  - 。ライセンスのアンインストール

。ライセンスの移転

7. アクティベーションファイルを回復する



	le l	<b>-13C</b>
01	Comware ベーシック	Leader in Digital Solutions
02	初期設定	
03	VLAN	
04	Link aggregation	_
05	スタック(IRF)	
06	静的・動的ルーティング	
07	ACLについて	
80	SNMPとsyslogについて	
09	障害情報の収集	_
10	ライセンスの購入・登録・インストール・移転手順	-
11	マニュアルについて	-

### 11 日本語マニュアル、FAQなど



### https://knowledge-jp.h3c.com/TechDoc/index

製品別検索



11 英文マニュアルのダウンロードサイト



https://www.h3c.com/jp/



http://www.h3c.com/en/Support/Resource\_Center/Technical\_Documents/



# 11 製品カテゴリーの選択




# 11 個別製品の選択



H3C WX1800H Series Access Controllers	H3C WX5800H Series Access Controllers	H3C 802.11ax Series Access Points
H3C WX1800H Series Access Controllers Learn More →	H3C WX5800H Series Access Controllers Learn More →	H3C WA6638 Access Point Learn More →
H3C WX3800H Series Access Controllers	H3C 802.11ac Wave2 Series Access Points	H3C WA6636 Access Point Learn More →
H3C WX3800H Series Access	H3C WA510H Access Point	
Learn More →	Learn More →	H3C WA6630X Access Point Learn More →
	H3C WA530 Access Point Learn More →	
		H3C WA6628X Access Point Learn More →
	H3C WA530X Access Point Learn More →	

# 11 設置、コマンド、コンフィグ、保守マニュアル



НЗС	Products & Technology - Solutions - Support - Training & Certification	on <del>▼</del> Partners <del>▼</del> About
Technical Documer	nts Software Download I	Knowledge Base
Technical Documents	Command References	
Trending	Title	Date
Install	H3C Access Controllers Command References(R5426P02)-6W103	10-12-2020
Command →	<ul> <li>→ 00-About the H3C command references</li> <li>→ 01-License Management Command Reference</li> </ul>	
Configure	<ul> <li>→ 02-Fundamentals Command Reference</li> <li>→ 03-System Management Command Reference</li> </ul>	
Maintain	→ 04-Interface Command Reference	
	→ 05-Network Connectivity	
	→ 06-WLAN Access Command Reference	
	→ 07-AP and WT Management Command Reference	

→ 08-WLAN Security Command Reference





付録1

### ・装置全体を工場出荷時に戻す

## 工場出荷時の状態に戻す

#### <H3C>**SYS**

System View: return to User View with Ctrl+Z.

### <H3C>restore factory-default

This command will restore the system to the factory default configuration

and clear the operation data. Continue [Y/N]: y

Restoring the factory default configuration. This process might take a few minutes. Please wait......Done.

Please reboot the system to place the factory default configuration into effect.

### <H3C>**reboot**

Start to check configuration with next startup configuration file, please wait......DONE!

Current configuration may be lost after the reboot, save current

### configuration? [Y/N]:N

This command will reboot the device. **Continue?** [Y/N]:**Y** Now rebooting, please wait.....%Jan 1 01:01:13:194 2021 H3C DEV/5/SYSTEM\_REBOOT: System is rebooting now.

### Starting.....

\*

Press Ctrl+D to access BASIC BOOT MENU Press Ctrl+E to start flash test

\* H3C S5560X-34S-EI BOOTROM, Version 119

Use default net params. Press Ctrl+B to access EXTENDED BOOT MENU...0 Loading the main image files... Loading file flash:/s5560x\_ei-cmw710-system-r6552.bin.....

### Done.

Loading file flash:/s5560x\_ei-cmw710-freeradius-r6552.bin....Done.

.....Done.

System is starting... Cryptographic algorithms tests passed.

### Startup configuration file doesn't exist or is invalid.

Performing automatic configuration... Press CTRL\_C or CTRL\_D to break.

Automatic configuration attempt: 1. Interface used: Vlan-interface1. Enable DHCP client on Vlan-interface1. Set DHCP client identifier: 441afac6a066-VLAN0001 Obtained an IP address for Vlan-interface1: 10.10.11.49. Automatic configuration is running, **press CTRL\_C** or CTRL\_D to break. Automatic configuration is aborted. Line aux0 is available.

Press ENTER to get started.





付録2

・ユーザーrole( level0 – level15)

### ユーザーrole(level0 – level15)

システムには、事前定義済のユーザーロールが用意されています。これらのユーザーロールは、すべ てのシステムリソースにアクセスできます。ただし、表9に示すように、アクセス権限は異なります。

事前定義されたすべてのユーザーロールの中で、ローカルユーザーおよびローカルユーザーグルー プを作成、変更および削除できるのは、network-adminおよびlevel-15のみです。他のユーザーロー ルは、ローカルユーザーおよびローカルユーザーグループを構成する権限がある場合にのみ、独自 のパスワードを変更できます。

レベル0からレベル14のユーザーロールのアクセス権は、ユーザーロールルールおよびリソースアク セスポリシーを使用して変更できます。ただし、これらのユーザーロールの事前定義済のアクセス権 は変更できません。たとえば、これらのユーザーロールのアクセス権をdisplay history-command allコマンドに変更することはできません。

ユーザーロール名	使用許可	
network-admin	display security-logfile summary、info-center security-logfile directory、およびsecurity-logfile saveコマンドを除く、システム内のす べての機能およびリソースにアクセスします。	
network-operator	<ul> <li>システム内の機能およびリソースのdisplayコマンドにアクセスします。ユーザーロールのアクセス可能なコマンドをすべて表示するには、display roleコマンドを使用します。</li> <li>ローカル認証ログインユーザーが自分のパスワードを変更できるようにします。</li> <li>XMLビューの入力に使用するコマンドにアクセスします。</li> <li>すべての読み取り型XML要素にアクセスします。</li> <li>すべての読み取りタイプMIBノードにアクセスします。</li> </ul>	



### ユーザーrole(level0 – level15)





# ユーザーrole(level0 – level15)



[H3C] super password simple zemy&%2648.com

local-user testuser class manage password simple bsektr%tt@259 service-type terminal authorization-attribute user-role level-0

\* Copyright (c) 2004-2023 New H3C Technologies Co., Ltd. All rights reserved.\*

\* Without the owner's prior written consent,

\* no decompiling or reverse-engineering shall be allowed. \*

Line con0 is available. Press ENTER to get started.

login: testuser Password : bsektr%tt@259 <H3C>dir Permission denied.

#### <H3C>super level-15

Password: : zemy&%2648.com User privilege role is level-15, and only those commands that authorized to the role can be used.

#### <H3C>dir

. . . . . . . . .

Directory of flash: 0 drw- - Aug 10 2023 09:13:54 anchor-ac

1 -rw- 218 Aug 03 2023 08:57:59 ap-diag.txt

24 -rw- 55543808 Aug 30 2023 06:52:53 wa6600-system.bin 262144 KB total (124540 KB free) <H3C> [H3C]local-user test class network [H3C -luser-network-test]password simple 123789.com [H3C -luser-network-test]service-type ? **ADVPN** service advpn ike IKE service **IPOE** service ipoe Ian-access LAN access service **Portal service** portal ppp **PPP** service **SSL VPN service** sslvpn [H3C -luser-network-test] quit

[H3C]local-user test2 class manage [H3C -luser-manage-test2]ser [H3C -luser-manage-test2]service-type ? FTP service ftp **HTTP service type** http **HTTPS** service type https X.25 PAD service pad **Secure Shell service** ssh Telnet service telnet Terminal access service terminal [H3C]









ログを表示する際に新しい順に表示するには以下のオプション(reverse)が使われます。

<H3C>dis logbuffer reverse

logbufferはメモリー上に保存されますので、rebootするとバッファーの内容は クリアされます。コマンドでクリアする方法もあります。

<H3C>reset logbuffer

logbufferのサイズは最大1024件分のメッセージを保管し、デフォルトでは 500件でそれを超えると一番古い先頭から上書きされます。 以下のコマンドで記録する件数を設定できます。 [H3C]info-center logbuffer size 1024

### logbufferの内容はデフォルトでは1日に1回、logfileというディレクトリーにあるlogfile.logというファイルに前回との差分が追記されます。

1時間(3600秒)に1回書き出すには以下のコマンドで行います。 ただし、前回保存した時から新たな差分のイベントが発生していなければ書 き出しません。

[H3C]info-center logfile frequency 3600

ログをlogfile.logに書き出す際、最大容量までは追記されます。

logfile.logにログを書いている最中に最大容量を超えるとこの ファイルを削除し、新たに同じファイル名で作成してlogbufferの ログがそのまま書き込まれます。ファイルサイズは最大10Mまで。 [H3C]**info-center logfile size-quota 10** 

時間にならなくても、現状のlogbufferの内容をlogfile.logに書き 出すには以下のコマンドを使います。

### <H3C>logfile save

The contents in the log file buffer have been saved to the file flash:/logfile/logfile.log.

デフォルトではイベントログはlogbufferというメモリー領域に記録されますが、記録しないようにもできます。 [H3C]undo logging enable

ログは通常コンソールには出力されませんが、設定することによ りコンソールにも表示されます。 <H3C>terminal monitor







## **USBの利用**

# スイッチの機種によってはUSBドライブを備えております。 <H3C>

# USBが挿入されました

%Jan 1 00:21:10:705 2013 H3C FS/5/FS\_INSERTED: usba: inserted into slot 1.

#### <H3C>dir usba0:

Directory of usba0:

0 -rw- 54765568 Oct 12 2023 11:58:16 S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe 1 drw- - Jul 14 2023 18:06:18 System Volume Information

#### 15822736 KB total (15769216 KB free)

#### <H3C>copy usba0:/S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe flash:/

Copy usba0:/S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe to flash:/S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe? [Y/N]:y Copying file usba0:/S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe to flash:/S5570S\_EI-CMW710-

R1123.ipe..... Done.

<H3C>dir

#### Directory of flash:

- 0 -rw- 54765568 Jan 01 2013 00:22:49 S5570S\_EI-CMW710-R1123.ipe
- 1 -rw- 220684 Jan 01 2013 00:00:01 defaultfile.zip
- 2 drw- Jan 01 2013 00:00:50 diagfile
- 3 -rw- 735 Jan 01 2013 00:21:34 hostkey
- 4 -rw- 827 Jan 01 2013 00:57:42 ifindex.dat
- 5 drw- Jan 01 2013 01:01:45 logfile
- 6 drw- Jan 01 2013 00:01:12 pki
- 7 -rw- 6330368 Aug 08 2008 20:00:00 s5570s\_ei-cmw710-boot-r1113.bin
- 8 -rw- 81301504 Aug 08 2008 20:00:00 s5570s\_ei-cmw710-system-r1113.bin
- 9 drw- Jan 01 2013 00:00:50 seclog
- 10 -rw- 591 Jan 01 2013 00:21:34 serverkey
- 11 drw- Jan 01 2013 00:02:22 versionInfo



# WindowsでフォーマットされたUSBを使えますが、エラーが出るようならformatします <H3C>**format usba0:** All data on usba0: will be lost, continue? [Y/N]:y

Formatting usba0:..... Done. <H3C>dir usba0: Directory of usba0: The directory is empty.

15822736 KB total (15822728 KB free)

# 直接USBを抜いてもアクセス中でなければ問題ありませんが、un mountで安全 <H3C>**umount usba0**:

Umount usba0: successfully.

%Jan 1 00:32:05:731 2013 H3C FS/4/FS\_UNMOUNTED: usba0: unmounted from slot 1.

%Jan 1 00:32:11:410 2013 H3C FS/4/FS\_REMOVED: usba: removed from slot 1.





付録5

・インタフェースの命名規則

拡張インタフェースカードの場合



例えば、LSWM2XMGT8Pインタフェースカードは8-Port 1/2.5/5/10G BASE-Tのマルチギガ8ポートになります。

**インタフェース速度の表示**:マルチギガのポート速度は最高速度を表示します。8-Port 1/2.5/5/10G BASE-Tの場合、10Gが最高なので、 Ten-GigabitEthernetと表示されます。

### インタフェース番号の表示: x/y/z

- **x**: IRFメンバーID。スイッチが IRF ファブリック内にない場合、 デフォルトでは x は 1 です。
- y :カードスロット番号。0は、インターフェイスがスイッチの固定 インターフェイスであることを示します。
   1は、インターフェイスが拡張インターフェイスカード1上に あることを示します。
   2は、インターフェイスが拡張インターフェイスカード2上に あることを示します。
- z:インタフェースカードの先頭が1から始まるポート番号

この場合、スイッチの背面の拡張ボードスロット1にこのカードを挿入すると上の規則に従うと次のようになります:

interface Ten-GigabitEthernet1/1/1 port link-mode bridge # interface Ten-GigabitEthernet1/1/2 port link-mode bridge interface Ten-GigabitEthernet1/1/3 port link-mode bridge interface Ten-GigabitEthernet1/1/4 port link-mode bridge interface Ten-GigabitEthernet1/1/5 port link-mode bridge

interface Ten-GigabitEthernet1/1/6 port link-mode bridge

#

interface Ten-GigabitEthernet1/1/7 port link-mode bridge

#

interface Ten-GigabitEthernet1/1/8 port link-mode bridge



www.h3c.com

www.h3c.com